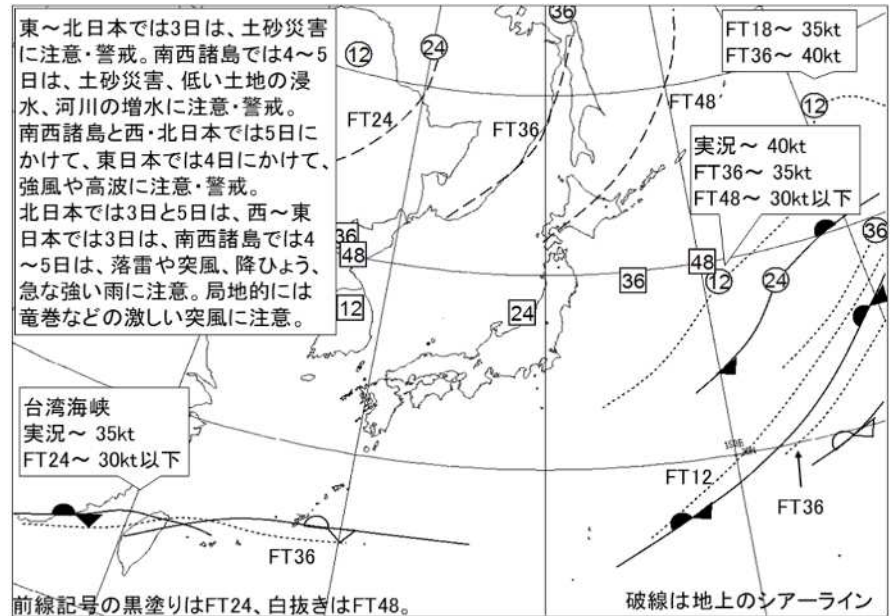


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5520m付近で -30°C 以下の寒気を伴うトラフが東～北日本を通過中。上空寒気の影響で大気の状態が不安定となっており、東日本日本海側を中心に雷を検知し激しい雨を解析。
- ② 山東半島付近に高気圧があって、東南東へ移動。また、日本の東には前線を伴った低気圧があって、北東進。日本付近は一時的に西高東低の冬型の気圧配置となっており、全国的にやや強い風や強い風、局地的には非常に強い風が吹き、東京地方と近畿地方に「木枯らし1号」を発表。また、波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、3日夜には日本の東へ抜ける。上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。西～北日本では3日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、これまでの大雨の影響で地盤の緩んでいる所があるため、東～北日本では3日は、土砂災害に注意・警戒。
- ② 500hPa 5820m付近の正渦度極大域に対応し、4日朝までに華南から南西諸島付近に前線が顕在化し、5日は日本の南へのびる。前線に向かって850hPa $\theta \geq 336\text{K}$ 以上の暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では4～5日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。
- ③ 5日は、500hPa 5280m付近のトラフに対応する低気圧がオホーツク海を東進し、低気圧からのびる地上のシアーラインが北海道地方を通過する。上空寒気とシアーラインに向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。北海道地方では5日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 1項②の西高東低の気圧配置の影響、また4～5日は日本の東へ移動する1項②の高気圧と、2項②や③の前線・シアーラインとの間で気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。南西諸島と西・北日本では5日にかけて、東日本では4日にかけて、強風や高波に注意・警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：北陸・近畿・九州北部4、北海道・東北・伊豆諸島・中国・沖縄3m。

③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。